

平成 30 年 12 月 25 日
全国健康保険協会静岡支部

地域フォーミュラリ策定に向けた協会レセプトの分析結果について ～地域フォーミュラリによる薬剤費削減効果の検証～

協会けんぽ静岡支部では本年度、地域フォーミュラリ策定に向けたデータ作成事業を実施しており、その分析結果が明らかになったので報告する。

分析対象（以下に記載）におけるレセプト数は 958,630 枚（実患者数 151,171 人）で、総薬剤費は年間 35 億 4,270 万円、後発品使用割合は数量ベースで 57.9%、金額ベースで 37.7%であった。このデータに対して、仮に長期収載品を全て後発品へ変更した場合の薬剤費削減想定金額は年間最大 9 億 37 万円であり、更に今回の分析用に作成したシミュレーション用フォーミュラリにて薬剤の切り替えを実施すると年間最大 4 億 5,655 万円が削減可能と試算された。これら合計の薬剤費削減想定金額は年間最大 13 億 5,692 万円に及ぶという結果であった。

特にフォーミュラリの有用性が高い薬効群がプロトンポンプ阻害薬であり、年間最大 3 億 3,154 万円の薬剤費総削減想定金額のうち、およそ 80%の 2 億 7,900 万円がフォーミュラリでの薬剤切り替えによるものであった。

今回の分析により地域や薬効群ごとの特性も明確となったので、今後は各地域の医療に最適かつ経済性を加味した地域フォーミュラリの作成・運用を目指し、各医療機関に協力を仰ぎたいと考えている。

■分析対象概要

【レセプトデータ期間】

2017 年 1 月～12 月

【レセプトデータ種別】

入院、DPC、外来、調剤

【対象施設】

静岡県内の医療機関

【対象疾患・薬効群】

1. 高脂血症：高脂血症治療薬のうち HMG-CoA 還元酵素阻害薬
2. 消化性潰瘍：消化性潰瘍治療薬のうちプロトンポンプ阻害薬（経口薬）
3. 高血圧症：降圧薬のうちレニンアンジオテンシン系薬（ACE 阻害薬・ARB 単剤）
4. 骨粗しょう症：骨粗しょう症治療薬のうちビスホスホネート系薬（経口薬）

■業務委託先

日本調剤株式会社

【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

全国健康保険協会静岡支部 企画総務グループ

TEL：054-275-6602

※本ニュースリリースは厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、本町記者会に配布しております。